

‘09-3-14

平成21年3月度第2回街づくり委員会（臨時）議事録

日時：’09-3-12（木）19：30～21：30

場所：膳所駅前商店街振興組合事務所

出席者：雨宮、奥村、寺井、上原、杉本、橋本、中井、竹吉、戸所、乾

欠席）森、原田、西本、志賀、川上

議事内容：

21年度新パワーアップ・夢実現事業への申請に当り、事務局作成の申請案文を基に議論を行い下記の内容で基本合意を得た。この案に沿い、雨宮会長に大津市と事前相談をして頂き問題なければ、事務局が申請書を作成し、期限内（4月8日まで）の提出を行うこととした。また、4月中旬に実施される審査会ではプレゼンテーションを杉本委員にお願いすることで了承された。

<21年度新パワーアップ事業申請案の骨子>

20年度の申請内容との主な変更点などは以下の通り。

1. 事業名称

自主運営による「生活バスぐるっと平野号」導入プロジェクトとする。

2. 事業の目的

20年度の試験走行を成功裏に終えて、21年度は自主運営を目指す中で運営主体のあり方、運営組織のあり方、バス運行のあり方、採算性検討などの諸課題に取り組み、「生活バス「ぐるっと平野号」の具体的なイメージ構築を図ることを目的とする。

3. 事業の概要および活動内容

①有識者の招聘による理論構築

運営主体の差による事業展開の難易度の研究、組織運営の取組み方、バス運行者の差による事業展開の難易度の研究、採算性シミュレーションの取組み方などの具体的な対応に取り組む。

<招聘したい候補者>

大室悦賀：京都産業大学准教授、淡海ネットワークセンター所属

塚口博司：立命館大学教授、大津市地域公共交通会議座長

森川 稔：滋賀県立大学准教授、専門は都市計画、まちづくで竜が丘在住

②淡海ネットワークセンターや各地の市民活動家との交流

多くの情報を有する組織や市民活動家との交流を通し、継続性のある事業の姿と展開のあり方を策定する。

<交流したい市民活動家候補者>

西脇良孝：NPO 法人生活バス四日市理事長（3月3日一部委員が交流）

畑みゆき：特定非営利活動法人「ROBA」副会長（福井市）

塚本淳子：特定非営利活動法人「市民活動研究所ステップふくい」副理事長

③コミュニティバスや住民主体運営の実勢例の視察研修

20年度は各地の実践例視察を通して多くの示唆を得た。21年度も継続して実践例の視察研修を行う。

<視察研修をしたい実践例>

福井市：ROBA（ふくい路面電車とまちづくりの会）

神戸市：「住吉台くるくるバス」

静岡県旧佐久間町：「自前タクシー会社」

松阪市：「黒部・東地区コミュニティバス」

彦根市：「予約乗合タクシー」

西浅井町：「おでかけワゴン」

④地域住民との対話集会の実施と合意形成

自主運営を標榜する限り、住民の負担・協力は不可欠となる。これへの対応としては住民との合意形成が何よりも重要である。平野学区に何故「生活バス」が必要かとの原点の対話を重ね、実現した時は「自分たちのバス」であるとの認識が共有できるよう対話集会を実践して行く。

4. 補助金申請額

規定による最高限度額の140万円を申請する。

規定では、関連テーマでの2年目の補助金額は初年度の70%が限度額である。

5. 月次計画、補助金収支予算書などについては、上記活動内容に沿って事務局で策定する。

次回委員会は3月19日（木）19：30～となっています。ご出席をお願いします。

以上